

雲をつかむ: 原美術館/原六郎コレクション

第1期[春夏季] 2022年3月19日(土)ー9月4日(日)

原美術館ARC 現代美術ギャラリー

Gallery A

杉本 博司

「仏の海」

ゼラチンシルバープリント 1995年

各 50.8 x 61 cm

リチャード ロング

「ストーンサークル」

石 (29個) 1980年

280 cm (直径)

Gallery B

エレナ アルメイダ

「私の言うことを聞いて」

写真 (28点組) 1980年

各 28 x 36 cm

宮島 達男

「時の連鎖」★

発光ダイオード、IC、電線

1989/1994/2021年 22 x 475 x 4.7 cm

藤本 由紀夫

「18 x 18 (screen)」

ミクストメディア 2007年

200 x 100 x 10 cm

佐藤 時啓

「#389 Kamaiso 1998」

ゼラチンシルバープリント 1998年

103 x 126 cm

笹口 数

「星座ー水瓶座」「星座ー牡牛座」

「星座ー牡羊座」「星座ー牡牛座」

「星座ー乙女座」

水彩紙に箔押しプリント 2002年

45 x 35 cm

佐藤 時啓

「#347 Hattachi 1998」

ゼラチンシルバープリント 1998年

103 x 126 cm

笹口 数

「星座ー乙女座」「星座ー乙女座」

「星座ー山羊座」「星座ー双子座」

「星座ー獅子座」

水彩紙に箔押しプリント 2002年

45 x 35 cm

野村 仁「正午のアナレンマ '90」

カラー写真 1990-1991年

110 x 90 cm

イヴ クライン「青いスポンジ」

スポンジ、顔料 1960年

41.5 x 22.5 x 15.5 cm

奈良 美智

「My Drawing Room」★

ミクストメディア 2004/2021年

312 x 200.5 x 448 cm

東芋「真夜中の海」★

ビデオインスタレーション

2006/2008年 4分ループ

Gallery C

山口 長男「かたち」

木板に油彩 1952年 186 x 186 cm

ジャン=ピエール レイノー

「考古学的タイル板」

木板にタイル、石膏 1976年

203 x 108 x 2.6 cm

「試験管 II」

木材にペイント、タイル、ガラス管

1978年 53 x 37.3 x 16.7 cm

井田 照一「岩の中の円 --- 赤 No. 1」

染色された型抜き紙にドローイング、

コットンパルプファイバー 1982年

210 x 195 x 12 cm

内倉 ひとみ「Lumiere 2007-1」

紙にエンボス 2007年

200 x 113 cm

笹口 数

「星座ー水瓶座」「星座ー乙女座」

「星座ー山羊座」「星座ー牡羊座」

水彩紙に箔押しプリント 2002年

45 x 35 cm

エンリコ カステラーニ「白の表面」

カンヴァスに油彩、釘 1987年

150.2 x 120.3 cm

辰野 登恵子「無題 97-4」

カンヴァスに油彩 1997年

218 x 291 cm

宮脇 愛子「無題」

油彩、大理石粉、鏡 1964年

162 x 242.8 cm

ナム ジュン パイク「キャンドルテレビ」

テレビ、ろうそく 1980年

33 x 41 x 24 cm

吉田 克朗「触“体-27”」

麻布に黒鉛、木炭、アクリル絵具、油絵具、

顔料 1989年 194 x 259 cm

ピエール スーラージュ「無題」

カンヴァスに油彩 1959年 91 x 64 cm

ジュルズ オリツキー「魂の歓喜」

カンヴァスにアクリル絵具、石膏

1983年 172 x 116 x 5.2 cm

アゴスティーノ ボナルーミ「白」

カンヴァスに油彩 1987年 89 x 116 cm

ベルント&ヒラ ベッヒャー「4つの坑口」

ゼラチンシルバープリント 1989年

114.2 x 94.8 cm (4点組)

草間 彌生「ミラールーム (かぼちゃ)」★

ミクストメディア 1991/1992年

200 x 200 x 200 cm

展示室外

三島 喜美代「Newspaper - 84 - E」

セラミック、シルクスクリーン 1984年

105 x 74 x 102 cm

今春より原美術館 ARC では、昨年の「虹をかける」に続き、今年も作品制作や鑑賞のあり方の一端を表す言葉を当館の豊かな自然環境に求め、「雲をつかむ」と題し、「原美術館コレクション」(現代美術)と「原六郎コレクション」(東洋古美術)を春夏季と秋冬季の2期に分けて展覧します。原美術館 ARC の広い空には、西の山の向こうから雲が現れてはかたちを変えながら流れていきます。雲水を眺めながら作品の意図をつかもうと次から次へと考えを巡らせる——ここは、そのような場所です。



ギャラリー内での撮影、飲食はご遠慮ください。

また、作品に触れることはできません。小さいお子様は大人の方と手をつないで鑑賞下さい。

★印はセミパーマネント作品(大型インスタレーション)です

※会期中に展示作品が変更となる可能性があります